

# 新派再考

新派百三十年記念シンポジウム

2018年10月7日(日)  
13:00-17:00 (開場12:30)

立教大学池袋キャンパス太刀川記念館3階  
カンファレンス・ルーム

13:00-13:05 開会挨拶  
13:05-13:10 趣旨説明  
13:10-14:00 「新派の領分と風俗—メロドラマ・社会劇・探偵劇」  
14:00-14:25 「関西新派の多様性—静岡小次郎という現象」  
14:25-14:50 「新派と歌舞伎のあいだ—五世中村芝翫の家庭小説劇」

**神山 彰** (明治大学文学部教授)

**後藤隆基** (立教大学兼任講師・社会学部特定課題研究員)

**金子明雄** (立教大学文学部教授)

14:50-15:10 休憩

15:10-16:55 座談会「新派130年とその未来」

**喜多村緑郎** (新派役者)

**河合雪之丞** (新派役者)

**齋藤雅文** (劇作家・演出家)

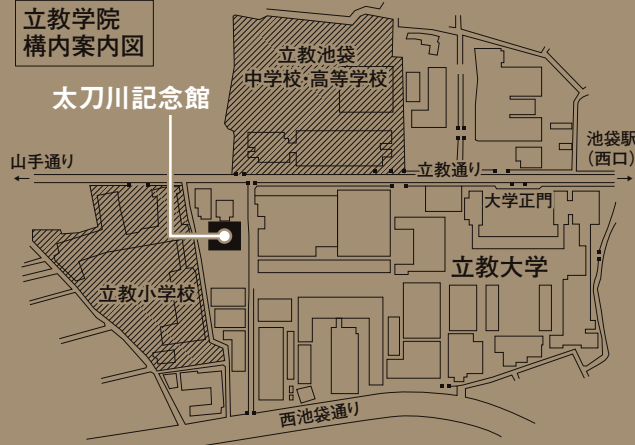
**神山 彰** [司会]

16:55-17:00 閉会挨拶



日本演劇にとって「新派」とは何か。本シンポジウムでは、130年の歴史をもつ新派という演劇ジャンルが何を表現してきたか、それらがどのように受容されてきたのかを再考し、新派の未来について検討する。なお本年は、1月から山田洋次演出の新作『家族はつらいよ』で幕を開け、『黒蜥蜴 全美版』、『華岡青洲の妻』、そして11月には新作『犬神家の一族』が上演される。2019年1月には名作『日本橋』の上演が決まっている。(※申込不要・入場無料)

立教学院  
構内案内図



**喜多村 緑郎** Rokuro Kitamura

新派役者。1969年新潟県生まれ。1988年3月、国立劇場第9期歌舞伎俳優研修を修了。市川段四郎に入門し、市川段治郎を名のる。1994年三代目市川猿之助(現・市川猿翁)の部屋子となる。2004年猿之助の代役としてスーパー歌舞伎『新・三国志Ⅲ』に出演。2008年にはスーパー歌舞伎『ヤマトタケル』に主演するなど花形俳優として活躍。2011年に二代目市川月乃助と改名。2016年劇団新派に移籍し、二代目喜多村緑郎を襲名。

**河合 雪之丞** Yukinojo Kawai

新派役者。1970年東京生まれ。1988年3月、国立劇場第9期歌舞伎俳優研修を修了。1988年三代目市川猿之助(現・市川猿翁)に入門し、市川春猿を名のる。1994年に三代目猿之助の部屋子となり、女方として活躍。2017年劇団新派に移籍し、河合雪之丞と改名。2007年に第28回松尾芸能賞新人賞、2008年に国立劇場優秀賞受賞。著書に『女づくり』(徳間書店、2006年)がある。

**齋藤 雅文** Masafumi Saito

劇作家・演出家。1954年東京生まれ。早稲田大学教育学部卒業。1980年、劇団新派文芸部に入る。新派作品の演出をはじめ、新橋演舞場、歌舞伎座、日生劇場、明治座などの芝居、ミュージカルの数多くの作・演出を手がける。最近の新派新作として『糸桜』『黒蜥蜴』『怪人二十面相』。1994年『恋ふみ屋一葉』で第2回読売演劇大賞最優秀作品賞受賞。2007年『竜馬がゆく(立志篇)』で新作歌舞伎に与えられる大谷竹次郎賞受賞。

**神山 彰** Akira Kamiyama

明治大学文学部教授。1950年東京生まれ。国立劇場芸能部で歌舞伎・新派の舞台を制作。1996年より現職。専攻は近代日本演劇。主著に『近代演劇の来歴—歌舞伎の「一身二生」』(森話社、2006年)、『近代演劇の水脈—歌舞伎と新劇の間』(森話社、2009年)他。

【主催】立教大学文学部日本文学専修

【共催】立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター、立教大学日本文学会、  
科研費若手研究「明治期京阪文化人ネットワークと同時代演劇の交流をめぐる総合的研究」(JP18K12235)

【問合せ】立教大学学部事務1課(03-3985-2500)

※本研究はJSPS科研費JP18K12235の助成を受けて実施されるものである。  
写真:「婦系図」2013年10月(©松竹)